

自然教育園の 3月に見ごろの植物



カタクリ

武



シュンラン

武 路



ヒトリシズカ

武 路



イカリソウ

武 路



アマナ

武 水



ムサシアブミの花
(4月)

武 路



ヤマブキ

武 水 路



コブシ

武 水 鳥



バイモ

武 水 路



スギナ(つくし)

水



ヤブレガサ
(芽生え)

路

成長した葉 (4月)



ウグイスカグラ

路 森



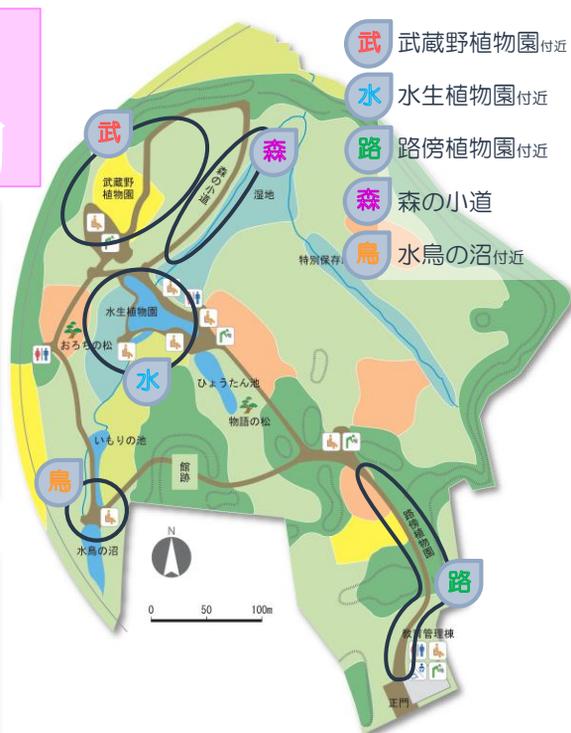
キブシ

路



タチツボスミレ

武 水 路 森



いきもの解説

カタクリ

＜3月中旬～4月上旬＞

雪国に多く、林内に群生する植物。早春の野草として人気があり、乱獲されたため、人家周辺では見られなくなっていました。かつては地下茎から片栗粉が作られましたが、今は多くがジャガイモから作られます。

武

ヒトリシズカ

＜3月中旬～4月上旬＞

ブラシ状の白い花がちょこんとついています。清楚な花を静御前にたとえ、この名前がつきました。

武 路

アマナ

＜3月上旬～3月下旬＞

「甘菜」の名前は、地中のまるい鱗茎が食用となり、甘みがあることによります。花は、日が当たると開き、天気が悪いとあまり開きません。

武 水

コブシ

＜3月中旬～4月上旬＞

上を見上げると、大きな白い花が咲いています。コブシは、その花の開花を目安に農作業が開始されたことから、「イモウエバナ」「タウチザクラ」などの別名もあります。

武 水 鳥

ヤブレガサ(芽生え)

＜3月上旬～3月下旬＞

芽生えた時期の姿が、破れた和傘に似ていることから「破傘(やぶれがさ)」と名前がつきました。

路

キブシ

＜3月上旬～3月下旬＞

穂状にぶら下がった淡黄色の花がよく目立ちます。昔は、髄を灯心(あんどんなどの芯)に、果実に含まれるタンニンをお歯黒に用いたと言われていました。

路

タチツボスミレ

＜3月中旬～4月中旬＞

人家近くの道端から山地まで、ごくふつうに生育するスミレです。花の色はふつう薄い青紫色ですが、色の濃淡は変化に富んでいます。

武 水 路 森

キタテハ

暖かい日には、園内をひらひらととんで、花の蜜を吸ったり、草の上で翅を広げて日向ぼっこをしている姿を見かけるようになりました。

シュンラン

＜3月中旬～4月中旬＞

春に咲く代表的なラン、春蘭(シュンラン)。里山にも自生し、花が比較的大きく、姿が美しいので観賞用に栽培されます。

武 路

イカリソウ

＜3月下旬～4月中旬＞

花の形を船の碇(いかり)に見立てたことが名前の由来。乾燥させたものは、漢方薬としても利用されます。

武 路

ムサシアブミ(芽生え)

＜3月上旬～3月下旬＞

地面から突き出ているのは、ムサシアブミの芽生えです。4月には、大きな葉を広げ、花を咲かせます。こちらもお楽しみに!

ムサシアブミの花
(4月)



武 路

ウグイスカグラ

＜12月下旬～4月上旬＞

ピンク色の花が咲いています。花の付き方がユニークで、小さなラッパが枝にたくさんぶらさがっているようにも見えます。

路 森

ヤマブキ

＜3月下旬～4月下旬＞

重なった枝が風に揺れる様子「山振り」が転じて「やまぶき」と呼ばれるようになりました。この花の鮮やかな黄色を「やまぶき色」と言います。昔から日本人に親しまれた植物で、「万葉集」には17種が詠まれ、「源氏物語」や「枕草子」にも登場します。

武 水 路

バイモ

＜3月中旬～4月上旬＞

ユリの仲間で、原産地は中国。薬用の植物として有名で、乾燥させた鱗茎は「貝母(バイモ)」とよばれ、咳止めや止血などに効果があるとされています。観賞用によく栽培されます。別名は「アミガサユリ」で、花の内側に網目状の模様があることによります。

武 水 路

スギナ(つくし)

＜2月下旬～3月下旬＞

つくしは、スギナの胞子茎(胞子をつけるための茎)で、春の風物詩としておなじみ。食用にもされます。小さくて見つけにくいですが、是非探してみてください。

水

全域で
見られます